

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 先天性代謝異常等検査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局子育て支援課 母子保健係

電話番号：058-272-1111 (内 2685)

E-mail: c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 42,701 千円 (前年度予算額：44,825 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	44,825	0	0	0	0	0	0	0	44,825
要求額	42,701	0	0	0	0	0	0	0	42,701
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

先天性代謝異常等は、異常に気付かず放置すると知的障害や乳幼児突然死等を引き起こす可能性があるため、新生児の段階でマススクリーニング検査を実施し、異常の早期発見、早期治療につなげる。

(2) 事業内容

・先天性代謝異常等検査事業

生後4～6日に採血した児の検体を委託検査機関で検査。精密検査が必要と判断された場合には専門医療機関への受診を勧奨。養育支援は保健所が必要に応じて実施。

・検査の精度管理事業

精度管理専門機関に委託し県委託検査機関の精度管理を行うほか、患児の医療ケア等を充実させるため県内の診療支援ネットワークの形成と事業体制を精度管理するため有識者による検討会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

すべての都道府県において、先天性代謝異常等検査を実施している。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額 (千円)	事業内容の詳細
報償費	137	検討会委員報償費
旅費	77	検討会委員旅費、業務旅費
需用費	1,923	検査用ろ紙購入費、会議費お茶代、検査申込書等印刷代
役務費	100	電話代、検討会案内郵送代
委託料	40,449	検査委託、精度管理委託
使用料	15	検討会会場使用料
合計	42,701	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県少子化対策基本計画 (県母子保健計画)
- ・ 第7期岐阜県保健医療計画 (平成30年4月～)

(2) 国・他県の状況

すべての都道府県において、タンデムマス法を用いた検査を実施している。

(3) 後年度の財政負担

- ・ 県において、先天性代謝異常等検査の推進と検査精度の維持向上を図るため関係機関との連携を図っていく必要があり、今後も継続して事業を実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 都道府県は、検査精度の維持・向上、関係機関の連携、検査の必要性の周知を図る必要がある

事業評価調書

新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
すべての新生児が先天性代謝異常等検査を受ける体制を維持し、疾患の早期発見、発見時の医療・療育支援体制の強化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移			現在値	目 標	達成率
		(H)	(H)	(H)			
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%	

○指標を設定することができない場合の理由

- 検査体制を維持、診断された児のフォロー体制の整備が本事業の目的であり、目標の達成度を定量的な指標で表すことができない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
(1) 先天性代謝異常検査等支援事業検討会開催
令和3年1月頃開催予定。

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
新生児の検査体制を維持するとともに、検討会の開催により検査実績から、検査拒否事例があると考えられるが、拒否に至った背景等事例に関して詳細に把握できていないという課題が明らかとなった。そのため正確な患者数も把握できていないことから、引き続き診療ネットワーク体制の維持と患者に対するフォロー体制の強化が必要である。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	妊婦等に対し検査の必要性について周知を行い、すべての新生児が受検することで、疾患の早期発見、適切な医療、支援につながっていることから事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	疾患の早期発見を行うとともに、検討会で整備される診療ネットワーク体制により適切な医療機関へのつながりが出来ていることから、事業の有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	適切な周知によりすべての新生児が検査を受け、疾患が発見された場合は、専門的な医療機関にて医療を受ける体制が構築されていることから事業の効率性は高い。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>随時、現場の課題等を把握し、情報を共有しながら課題の解決に向けた検討が必要である。また、発見された児に対するフォロー体制の強化が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>すべての新生児が先天性代謝異常等検査を受検し、疾患を早期発見し適切な医療及び支援につなげていく必要があるため、今後も継続して事業を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	